
サクラの木の下で

キノコマン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

サクラの木の下で

【Nコード】

N3581A

【作者名】

キノコマン

【あらすじ】

心霊スポットに出掛けた男女の話し

サクラ咲く、春。
短い春です…。

サヤ

「サクラがピンクの花を咲かせるのは死体が埋まっているからなんだって。」

トシキ

「へー。」

サヤ

「特にこの幽霊坂のサクラはね、そんな噂があるの。」
この街には幽霊坂と昔から幽霊の噂が絶えない場所がある、幽霊坂のサクラの下によく現われるそうです。

トシキ

「もう、行こうぜサヤがそんな話するから気持ち悪くなちゃったよ。」サヤ

「トシキ意外と気が小さいんだから。」
あれから別れて数日がたち、何故かトシキと連絡が付かなくなってしまいました。

そんなある日、トシキからメールが届きました。『幽霊坂のサクラの下に居る、会いたい。』
久々の再開、早くサクラの木の下に行かなくちゃ。

幽霊坂のサクラの木が近づいてきました、サクラの木の下に誰かいます。

サヤ

「トシキ、今までどうしてたの？連絡もくれないから心配しちゃった。」トシキ

「俺も会いたかったよサヤ。」
サヤ

「一緒に帰ろうよ。」

トシキ

「あれからちょっと、この幽霊坂のサクラの木が気になってたんだ。」

「

サヤ

「気になってたって？幽霊のこと…」

トシキ

「見ちゃったんだよ、幽霊をサクラの木の下に女の幽霊を。」

サヤ

「女の幽霊？」

トシキ

「俺、恐くなってアパートに逃げ帰ったんだよ、そしたら『幽霊坂のサクラの木の下で待ってる』ってメールが届いたんだよ。」

サヤ

「ここに戻ってきたの。」

トシキ

「このサクラの木に行ったら居たんだよ、その女が。」

サヤ

「そしてどうなったの。」

トシキ

「そしてこうなったんだ。」

「そう言っとトシキの姿が消えてしまった。」

サヤ

「きゃっ！」

サクラの木が騒めき始めた、地面を見るとサヤの足に根が絡み付いていた。

サヤ

「えっ！何何何！きゃっ！」

サヤは一瞬にしてサクラの木の下に消えてしまった。

それから数日後。

ヨシエ

「サヤ、行方不明になっちゃった、連絡も無いよ。」

ヨシエの携帯にメールが届いた。

ヨシエ

「あっ！サヤからだ、もう突然居なくなるから心配しちゃったよ、

『幽霊坂のサクラの木の所で待ってるね。』 ああ、あのサクラの木だね。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3581a/>

サクラの木の下で

2011年10月3日02時42分発行